第26回
日本ダニ学会鹿児島大会
プログラム

会　期：2017 年 9 月 29 日（金）～10 月 1 日（日）

会　場：鹿児島大学　農・獣医共通棟

事務局：〒897-0303
鹿児島県南九州市知覧町永里 3964
鹿児島県農業開発総合センター茶業部内
E-mail: asj2017@acarology-japan.org

目　　次

大　会　要　領	1
大　会　の　案　内	2
一般講演(9/30)	3
一般講演(10/1)	4
大会参加者名簿	6
会　場　案　内　図	7

第26回日本ダニ学会鹿児島大会運営組織

大 会 長：井上　栄明

事 務 局：上室　剛，鹿子木　聡
豊島　真吾，日本　典秀
松尾　智英

共　　催：鹿児島大学共同獣医学部

第 26 回　日本ダニ学会鹿児島大会要領

会　期：2017 年 9 月 29 日（金）～ 10 月 1 日（日）

会　場：鹿児島大学　農・獣医共通棟　101 教室（1 階）
（鹿児島市郡元 1 丁目 21-24）

日　程：9 月 29 日（金）

14:00 ～ 15:20	編集委員会	※中会議室（3 階）
15:30 ～ 17:00	評議員会	※中会議室（3 階）

9 月 30 日（土）

9:30 ～	受付	
9:50 ～ 10:00	開会挨拶	
10:00 ～ 12:00	一般講演	（講演番号 1～8）
12:00 ～ 13:30	昼食・休憩	
13:30 ～ 15:00	総会・写真撮影	
15:00 ～ 16:30	一般講演	（講演番号 9～14）
18:00 ～ 20:00	懇親会	

10 月 1 日（日）

9:30 ～ 12:00	一般講演	（講演番号 15～24）
12:00 ～ 12:05	閉会	

大会の案内

受付

〇9 月 30 日（土）の 9:30 から会場前（鹿児島大学　農・獣医共通棟　101 教室）にて行います．プログラム，名札，領収書などをお受け取りください．参加費等を振り込んでいない方は, 受付にて, 参加費 4,000 円（学生は 2,000 円）, 懇親会費 6,500 円（学生は 3,000 円）をお支払いください.

〇会場内では名札を着用してください.

一般講演

〇講演は 1 題につき，発表 12 分，質疑 3 分，時間厳守でお願いします．講演が終わりましたら，次の講演の座長を順に務めてください．ただし，9 月 30 日（土）および 10 月 1 日（日）の最初の講演については，スタッフが座長を務めます.

〇大会が準備したパソコン（Windows 版，PowerPoint バージョン 2007）に，全てのプレゼンファイルをあらかじめインストールしておきますので, 休憩時間等を利用してファイルの動作確認を事前に行ってください．PowerPoint は，マウス機能付きレーザーポインター（コクヨ ELA-MRU41）を利用して，演者ご自身で操作していただきますが，必要な場合には，大会スタッフがサポートいたします.

〇10 月 31 日（火）までに，講演要旨を日本ダニ学会編集部に提出してください.

記念写真

〇9 月 30 日（土）の総会終了後，会場内にて記念写真を撮影します．遅れずにご参集ください．懇親会場もしくは受付で写真をお受け取りください.

昼食・休憩

〇大学周辺にある定食屋等をご利用いただけます. また, 9/29（金）および 9/30（土）は大学内の生協中央食堂が 8:00～19:30 まで営業しています.

懇親会

〇9 月 30 日（土）18:00 より, 鹿児島東急 REI ホテル（２階　宴会場　ジュピター）で開催します.（鹿児島市中央町 5-1，TEL 099-256-0109，https://www.kagoshima.rei.tokyuhotels.co.jp）

9月30日（土）

9:30　受　付

9:50　開 会 挨 拶

持ち時間は15分（発表12分，質疑3分）です.

10:00　1　イチゴにおけるナミハダニの薬剤抵抗性の圃場内分布と推移
〇土井 誠・中野 亮平・石川 隆輔・片山 晴喜（静岡農林技研）

10:15　2　多機能スプリンクラーによるナシ園の省力的ハダニ類防除の検討
〇浅野 亘（埼玉農技セ・果樹）・
小俣 良介（埼玉農技セ・病虫防除）

10:30　3　忌避性の有無で差がつくハダニとカブリダニの薬剤抵抗性
〇西川 和樹・矢野 修一（京大院・農・生態情報）

10:45　4　土着ジェネラリストカブリダニ4種の発育に対する各種殺虫剤の影響
〇岸本 英成・柳沼 勝彦・外山 晶敏（農研機構果樹茶）

11:00　5　南九州市知覧町のチャ圃場に定着したチリカブリダニの生態
〇猪口 真帆実・坂巻 祥孝・津田 勝男（鹿児島大農）・
鹿子木 聡（鹿児島農総セ茶業）

11:15　6　ニホンナシにおける株元草生処理がカンザワハダニ及びカブリダニ類の発生に及ぼす影響
〇中井 善太・武田 藍・金子 洋平・福田 寛（千葉農総研セ）・
大谷 徹（千葉県庁）

11:30　7　ハダニ類に対するUVB照射によるDNA損傷応答の解析
〇齋藤 弘之（茨城大・農）・吉岡 義雄（茨城大・農）・
中村 麻子（茨城大・理）・北嶋 康樹（茨城大・農）・
後藤 哲雄（茨城大・農）

11:45　8　北海道のマルノコダニ類の分類
〇高久 元（北海道教育大札幌），居林 真平（札幌英藍高）

12:00 ～ 13:30　昼 食 休 憩

13:30 ～ 15:00　総会･写真撮影

15:00　9　防除方法の違いがナミハダニ黄緑型の薬剤抵抗性遺伝子頻度に及ぼす影響
○今村 剛士・國本 佳範・井村 岳男（奈良農研）

15:15　10　ネザサスゴモリハダニ Stigmaeopsis temporalis の営巣行動について
○蔡 永海（愛媛連大）・伊藤 桂（高知大・農）

15:30　11　ナミハダニの低酸素耐性
山川 颯太（農工大院BASE）・大山 克己（大阪府大）・
矢守 航（東大院理）・○鈴木 丈詞（農工大院BASE）

15:45　12　New records of tenuipalpid mites (Acari: Tenuipalpidae) for the Georgian and Caucasian faunas
○Tea Arabuli (Illia State Univ. and Ibaraki Univ.)・Tetsuo Gotoh (Ibaraki Univ.)

16:00　13　マダニ体内における病原体の存在様式から感染時期を探る
○矢野 泰弘（福井大・医）

16:15　14　マダニ感染症リスク管理に対する生態学的アプローチおよびメディアとの協働
○五箇 公一（国立環境研）・岡部 貴美子（森林総研）

18:00 ～ 20:00　　懇　親　会
鹿児島東急REIホテル　2階　ジュピター

10月1日　（日）

9:30　15　エンドファイトによるハダニ密度抑制について
○日本 典秀・田中 福代・大脇 良成（農研機構中央農研）

9:45　16　エトキサゾール抵抗性ナミハダニの代替防除手段としての気門封鎖剤：土耕イチゴでの検証
○須藤 正彬（農研機構果樹茶）・中野 亮平・
土井 誠（静岡農林技研）・今村 剛士・
國本 佳範（奈良農研）・刑部 正博（京大・農）

10:00　17　ハダニが食痕の上に産卵する理由
櫻田 理地・○矢野 修一（京大院・農・生態情報）

10:15　18　日本の農生態系で採集されたカブリダニ類の採集記録の活用
○豊島 真吾（農研機構北農研）・岸本 英成（農研機構果樹茶）

10:30　19　花粉食によるカブリダニの紫外線耐性向上
杉岡 稔朗・川上 真理・東 桜子・平井 伸博・○刑部 正博（京大院農）

10:45　20　モモダニ科(ミズダニ亜団)の分類とMomonides属の日本初記録
○森本 静子(兵庫県博)･安倍 弘(日大生物資源)

11:00　21　ミツバチ以外の昆虫におけるアカリンダニ探索（スズメバチ編）
○前田 太郎（農研機構生物研）

11:15　22　ネオニコチノイド系農薬がアカリンダニ寄生に及ぼす影響評価
○坂本 佳子（国環研）・前田 太郎・芳山 三喜雄（農研機構生物研）・岸 茂樹・五箇 公一（国環研）

11:30　23　カベアナタカラダニの系統地理学的研究−予報2−
○島野 智之（法政大・自然科学セ）・ 蛭田 眞平（国立科博）・芝 実（松山東雲短大）

11:45　24　外国産クワガタムシナカセの在来クワガタムシへの影響
○岡部 貴美子（森林総研）

閉 会 挨 拶

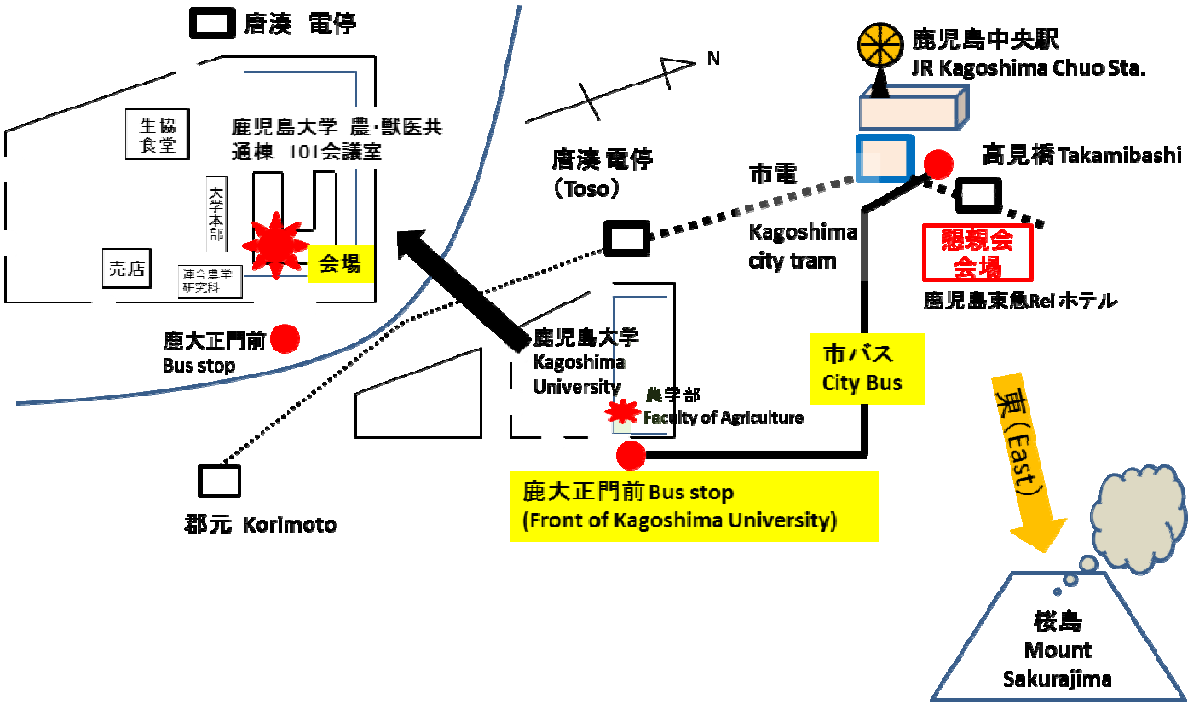
参加者名簿　（2017年9月12日　現在）

氏名	所属		講演番号
安倍 弘	日本大学 生物資源科学部		
Tea Arabuli	茨城大学 農学部		12
浅野 亘	埼玉県 農業技術研究センター		2
蔡 永海	愛媛大学大学院 連合農学研究科		10
Taylor DeMar	筑波大学 生命環境系		
土井 誠	静岡県 農林技術研究所		1
五箇 公一	国立環境研究所		14
後藤 哲雄	茨城大学 農学部		
日本 典秀	農研機構 中央農業研究センター		15
今村 剛士	奈良県 農業研究開発センター		9
井村 岳男	奈良県 農業研究開発センター		
猪口 真帆実	鹿児島大学 農学研究科		5
井上 栄明	鹿児島県 農業開発総合センター生産環境部	大会長	
上遠野 冨士夫	法政大学 生命科学部		
角坂 照貴	愛知医科大学 医学部		
鹿子木 聡	鹿児島県 農業開発総合センター茶業部		
上室　剛	鹿児島県 農業開発総合センター大隅支場		
岸本 英成	農研機構 果樹茶業研究部門リンゴ研究拠点		4
前田 太郎	農研機構 生物機能利用研究部門		21
松尾 智英	鹿児島大学 共同獣医学部		
森 崇秀	住化テクノサービス(株)		
森本 静子	兵庫県立人と自然の博物館		20
中井 善太	千葉県 農林総合研究センター		6
西原 亨	住化テクノサービス(株)昆虫チーム		
西川 和樹	京都大学大学院 農学研究科		3
西尾 史也	日本曹達株式会社		
岡部 貴美子	国立研究開発法人 森林総合研究所	会長	24
小俣 良介	埼玉県 農業技術研究センター		
刑部 正博	京都大学大学院 農学研究科		19
齋藤 弘之	茨城大学 農学部		7
齊藤 美樹	北海道立総合研究機構 中央農業試験場		
坂本 佳子	国立環境研究所		22
佐々木 健	アペックス産業(株)		
島野 智之	法政大学 自然科学センター		23
須藤 正彬	農研機構　果樹茶業研究部門茶病害虫ユニット		16
鈴木 翔	アグロ　カネショウ(株)　結城事業所		
鈴木 丈詞	東京農工大学		11
高藤 晃雄	大津市	名誉会員	
高久 元	北海道教育大学 札幌校		8
豊島 真吾	農研機構 北海道農業研究センター		18
宇野 温子	ニプロ株式会社 医薬品研究所		
矢野 修一	京都大学大学院 農学研究科		17
矢野 泰弘	福井大学 医学部		13
吉村 信吾	クミアイ化学工業（株）		

会場案内図

鹿児島大学　農・獣医共通棟　101 教室
（鹿児島市郡元 1 丁目 21-24）

大会会場および周辺の情報



バス路線 Bus Line		鹿児島中央駅前（東口）乗り場 Kagoshima Chuo Station East Exit Bus Stop
市営バス City Bus	9 武岡・鴨池港	東15 E15
	11 鴨池・冷水	
	20 緑ヶ丘・鴨池港	
鹿児島交通バス Kagoshima traffic Bus	19 紫原・桜ヶ丘	東22 E22

※鹿児島中央駅から鹿児島大学農学部まで，徒歩約 25 分（鹿児島市電沿いの場合）。
※鹿児島市電　鹿児島中央駅前電停から，高見橋電停まで，徒歩約 3 分。
※懇親会場の鹿児島東急 REI ホテルは，高見橋電停前にあります。